

私たちのボランティア活動の基本原則

里山管理は、生産の場としての利用を良好に維持する様々な管理が継続的に行われてきました。そのような管理は、自ずからと自然との共生のもと身近な生物とその場を共有するという、人間と自然との共生関係が構築された結果となり、その継続的な管理こそが、里山として長期にわたり維持されてきた要因のひとつです。

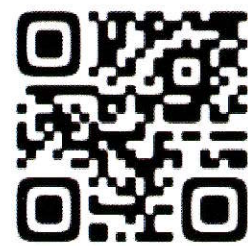
そのため、これからの里山管理の基本は、生き物の生活する場を我々人間もそこに生きていると認識していきたい。

- ①生産の場を営利優先利用という考え方を排除すること。
- ②生き物と私たちは場を共有していること。
- ③生き物についての知識を持つこと。
- ④消費可能な範囲で利用すること。

これからの里山管理は、ボランティアが楽しみながら出来る粗放的な管理が長続きするポイントであり、それが里山の再生、維持していくことにつながるのでしょうか。

多摩市グリーンボランティア講座(初級)より一部抜粋・加筆

会への連絡はQRコードを使うと便利です



ホームページ



ここももの森



インスタグラム

木もれびの森は、1973年相模原近郊緑地特別保全地区になった。

ここから管理は、地主さんから相模原市となった。73haの広い森、コナラ・クヌギ・ミズキの美林は、樹齢が伸びるに付けて害虫の発生や被害が起きて来た。

現在は、カシノナガキクイムシがコナラを枯らす状況だ。立ち枯れた木が葉を持たず、枝は折れて落ち、幹は黒く聳え立っている。

風速4mを超えると枝が落ちてくるのを私たちは体験している。このような危ない状況から安心出来る緑豊かな森を取り戻すため、伐採と若木の植え付けが緊急課題となっている。

今若木を育てると、2050年には立派な木に育つ。ゼロカーボンに貢献する森になる。

私たちの活動にご理解とご協力をいただきたいと強く願っています。

ホームページから、イベント参加や体験希望の申込ができます。

木もれびの森の 花と木々を守る会

(ここももの会)



090-9954-0190



cocomomo2204@gmail.com

お問い合わせはお気軽に！



木もれびの森の花と木々を守る会

愛称(ここももの会)



イベント

年間を通して様々なイベントを行っています。



ミズキ広場で紙バック・ブンブンごまづくり



外部イベントへの参加



にこにこサロン支援



森さんぽ

ゆっくり歩きながら、
花や木々を楽しみます。



クリスマスリースづくり



小学校学習支援



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



ドングリ苗木場づくり



下刈り



伐木



皆さんの入会をお待ちしています!

